

夢、私たちに。 わたしのひとこと



母から子へ

深空 服部 知子

今年の4月から、我が家の娘が幼稚園に通い始めた。朝の支度に時間がかかり、涙の日もあり、車で送ることが多かったが、ある日「おかあさん、きょうは歩いていこうよ！」と娘の提案で歩いて行った時のこと。車に乗ってはいわからない、花の香り、風のそよぎ、川のせせらぎ、陽の強さを、心と体でしっかりと感じた。自然の中を一步ずつ進めば、そこに自分の存在を感じられる。こんなに近くにあった自然の力に改めて驚き、見つめ直し、また歩み寄りたいと思う。

自分が母になり、子供だった頃のことを思い出す。夕焼けがきれいだから、紫陽花が咲いたから見てごらんと教えてくれたのは、いつも母だった。日々の暮らしの中で、幸せのかけらを私も娘に伝え大切にしていきたいと思う。そんな気持ちを持たせてくれた母に感謝している。



今こそ協力を

三日市場 太田 直樹

私は今、地元白馬のケーブルテレビの仕事をしています。仕事柄、取材等で様々な人と接する機会を得て、多くの話が聞けることを嬉しく思っています。

そんな中、先日取材先のある方から、「こんなに素晴らしい山や自然があるのに、村民が一番それをわかっていない。観光に来る人が白馬に求めているのは、日常の喧騒を離れた非日常。ニーズがわかれば、足りないものが見えるのでは。」という話を聞きました。私は耳が痛かった反面、これだけ白馬を思ってくれる人がいる事実を嬉しく思いました。

私を含め、白馬が好きで戻ってきた同年代が数多くいる現状、協力することでマンパワーは確保できるはず。人との関わり合いが面倒といった風潮がある昨今ですが、今こそ協力し合うときなのではないでしょうか。



常に挑戦

森上 松澤 一

若い頃は、何でもやって見ようと、興味もあり、常に物事を前向きに捉え、又、実行していた私が、今、この年になると、一步下がり、慎重に物事を考え、又時には、悲観的、消極的に考えてしまう、この現実、この現象は、人間誰しもそうなのだろうか?子供には、若い内に何にでも、経験や体験をしてもらいたい。それが、きっと必ず将来何らかの形で役に立つという自分。確かに、今思うと無駄なことをしたり、遠回りしたかもしれない。しかし、過去の経験が今の自分にあると確信している。もっと多くの物事に、新しい物を経験して、又常に挑戦して前向きに考え、実行していきたい。それが、年をとらないという事なのかもしれない。もう一度今、若者に提案します。若者よ、失敗を恐れず、常に挑戦だ。

編集後記

3・11の震災から脱原発への機運が高まるなか、今夏に向けた節電計画も発表されました。さまざまな議論がありました。大飯原発の3、4号機の再稼働が決まり、改めて、便利さの裏には大きな危機が潜んでいることを実感いたしました。

「議会だより」も前回で第100号記念誌を発売できました。村民の皆様や先輩議員の皆様などからの多くのご支援とご協力に対し、心より感謝申し上げます。

また、読者からの貴重なご意見等も参考にさせていただきました。議員一同、気を引き締めて第101号からの誌面作りに取り組んでまいります。引き続きご愛読を賜りますようお願い申し上げます。
(太田 修記)

議会報調査編集特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 下川 正剛 |
| 委員長 | 太田 修 |
| 副委員長 | 柏原 良章 |
| 委員 | 篠崎久美子 |
| 委員 | 太田 伸子 |
| 委員 | 田中 榮一 |
| 委員 | 小林 英雄 |
| 委員 | 松沢 貞一 |

白馬議会だより 101号
平成24年7月31日発行

発行 長野県白馬村議会
編集 議会報調査編集特別委員会
印刷 ㈲北辰印刷

〒339-9393 長野県北安曇郡白馬村
☎0261-72-5000 FAX0261-72-7001
http://www.vill.hakuba.lg.jp/assembly/assembly.html E-mail gikai@vill.hakuba.lg.jp